

事業所名

たつの市障害児通所支援センターはばたき園

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念		日常生活における基本的な動作及び知識技能の習得並びに集団生活への適応のための支援を行うことにより、利用者及びその家族の福祉の向上を図ります。								
支援方針		・利用者の意思及び人権を尊重して、常に利用者の立場に立った支援提供に努めます。 ・利用者の特性やニーズに応じた発達支援を提供し、経験の広がりや積み重ねにより心身ともに健やかに過ごせるよう支援します。 ・家庭や地域の中で健やかに育まれるよう、福祉、教育、医療等、関係機関との連携を図りながら包括的に支援します。								
営業時間			9 時	0 分	12 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・健康で安全に過ごすことができるよう、子どもの心身の健康状態の把握に努めます。 ・基本的生活習慣を形成し、必要な生活リズムを身につけられるよう支援します。 ・食事、排泄、衣服の着脱、身の回りの整理、清潔等の基本的生活スキルを獲得できるよう環境の工夫を行いながら、一人一人の状態に応じて支援します。								
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹、上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得を図ります。 ・粗大運動や微細運動、また様々な姿勢や動きを経験することで運動機能の向上をめざします。 ・子どものもつ感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等）を十分に活用できるよう、発達段階や興味関心に応じた遊び等を通して支援します。 ・子どものもつ感覚の特性を考慮し、過ごしやすい環境調整等の支援をします。								
	認知・行動	・一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう支援します。また認知の偏りの特性（こだわり等）に対する支援を行います。 ・対象や環境から得た情報から必要な情報を選び、的確な判断や行動につなげていく認知機能の発達を促すための支援を行います。（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断） ・興味のある活動や遊びを通して、色や形、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ・感覚や認知の特性、コミュニケーションの困難さから生じる行動障害の予防と適切な行動への対応のため、子どもが見通しをもち安心して過ごせる環境作りや関わりに努めます。								
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションに必要な基礎的能力を身につけ、言語、指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 ・具体的な事物や体験と言語の意味を結びつけることにより、体系的な言語を身につけることができるよう支援します。 ・場や状況に応じたコミュニケーションを円滑に行えるよう、友達や大人との関わりの中でコミュニケーション発達の土台作りをします。								
	人間関係 社会性	・人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成していけるよう支援します。 ・感覚を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 ・一人遊びから並行遊び、小集団で役割分担したり、ルールを守って遊ぶ協同遊びへと経験を重ねていけるよう環境構成を行います。 ・自分の気持ちや行動を理解し、コントロールできるよう支援します。								
家族支援		・送迎時や保護者同伴の集団療育の中で子どもの様子を伝え合い、保護者と情報共有をします。適宜、子育ての悩み事に対する助言や相談支援をします。 ・関係機関と連携し、ペアレント・トレーニングを実施します。					移行支援		・保育所等と支援内容の情報共有を行います。 ・入園や進級時には、安心して通園できるよう支援します。	
地域支援・地域連携		・福祉・保健・医療機関等の専門機関との連携 ・教育機関（学校園や教育委員会）との連携 ・地域支援体制の構築のため、個別ケース会議への参加					職員の質の向上		・事業所内研修の実施（虐待防止、事故防止、発達障害の理解等） ・関係機関主催の研修への参加（教育、保育、福祉、障害） ・外部研修への参加（発達、障害）	
主な行事等		・毎月、季節感を味わえる活動内容や製作を取り入れています。（水遊び、プール遊び、クリスマス会、節分等） ・定期的な避難訓練。 ・集団療育、個別療育（言語療法、作業療法、理学療法、心理療法、音楽療法）								